

NPO法人きょうと介護保険にかかわる会

2020年度 事業報告書

1. 2020年度の活動の概要

2020年度は、特定非営利活動法人きょうと介護保険にかかわる会（以下「かかわる会」という）の理念・目的を達成するため、以下の活動を行いました。

- (1) 介護保険制度のオンブズマン養成事業としての「研修会」の定期開催事業
- (2) 介護・福祉サービス提供事業者の質の向上と事業の発展をめざした「介護・福祉サービス第三者評価事業」
- (3) かかわる会の活動や介護保険制度の情報発信の充実及び会員交流を目指して、会報の充実と新しい方式でのホームページへの変更
- (4) 「よりよい介護をつくる市民ネットワーク」との連携強化によるシンポジウムの継続開催と友好団体等との連携強化及び京都市の介護保険行政への提言
- (5) 変遷する介護保険制度や社会保障制度の調査研究

2. オンブズマン養成事業（研修会等開催事業）

- (1) 2020年度の研修会は毎月1回開催を予定していましたが、コロナ緊急事態宣言のため4月、5月、1月はやむなく中止となりました。他の月は感染対策を十分に行ったうえで実施しました。（例年8月、12月は除く）

2020年度の1回目の6月研修会は、5月に発行した当会の20周年記念誌をもとに会員中心に市民の方も含め合評会をもちました。記念誌（全62頁）を編集担当した各パートの会員が概略を報告後、率直な感想・意見交換を行いました。会の終了後、新しく4名の方が入会されました。6月はウイズコロナ時代の生き方、いま求められている「知」についてラトゥールのアクターネットワーク理論を中心に境 毅氏とともに学びました。9月は「コロナ禍によるフレイル予防と介護」について奈倉道隆氏から詳しく学びました。11月は山田尋志氏が2040年問題を見据えて「これからの在宅介護サービスと施設のあり方」について問題提起されました。本年2月は田中けんじ氏(会員)が「京都の未来を語る～京都の現状と展望」について幅広い立場から講演され、3月は坂野裕也氏（会員）が現役認定理学療法士として勤務の傍ら、大学院生として研究された修士論文「在宅における転倒予防に関する研究」を発表されました。各研修会は講師の話の後、参加者が5、6名ごとのグループに分かれ、感想や意見を出し合う会員交流の場ともなっています。

各研修会の報告は会報やHPに掲載しています。研修会開催の広報は、会報やチラシ配布、HPのほか京都新聞の「まちかど」や「ふれあい広場」欄に依頼、毎回の掲載も定着し、各研修会には市民の方も多く参加されました。京都市ボランティアセンターや長寿すこやかセンターの情報欄からも情報発信し広報に努めました。

- (2) 当会も参画し、また研修事業の一環として位置付けている「よりよい介護をつくる市民ネットワーク」の第5回シンポジウム（10月25日）がひと・まち交流館京都の大会議室で開催されました。コロナ禍で開催も危ぶまれましたが、昨年同様に100名を超える市民の参加がありました。シンポジウムのテーマは、「介護崩壊は社会の危機 ヘルパーが大変！あなたの介護は大丈夫？」で、基調講演とコーディネーターは新井康友准教授（佛教大学）、パネリストとして訪問介護事業所管理者や現場ヘルパーの計3名が発言、ヘルパーの人手不足、コロナ禍の厳しい状況が課題として浮かび上がりました。また同年8月実施した訪問介護事業所の実態調査の結果発表も行いました。

研修会は以下の通りです。

回 数	実施日	テーマ	講 師	会 場	参加者
	2020 年 4 月 20 日 (中止)	施設見学会 社会福祉法人花友いち はら	施設長 長伊 ^{たずこ} 温子氏 外国人実習生 (フィリピン)	左京区静海市市原	—
総会記念	5 月 2 2 日 (中止)	介護保険の将来を考 える～超高齢社会と人手 不足を中心に～	元国立社会保障・ 人口問題研究所長 西村周三氏	ひと・まち交流 館京都 大会議室	—
第 105 回	6 月 20 日	20 周年記念誌 発行報告および合評会	—	ひと・まち交流 館京都	31 名
第 106 回	7 月 11 日	新型コロナ後の知を求 めて～ラトウールのア クターネットワーク理 論 (ANT) の紹介～	生活クラブ京都エ ル・コープ嘱託 境 毅氏	ひと・まち交流 館京都	24 名
第 107 回	9 月 4 日	コロナに気を取られフ レイルになるのを予防 しよう ～医療の手が届かない 介護の健康課題～	老年科医師・介護 福祉士 奈倉道隆氏	ひと・まち交流 館京都	39 名
5 団体 共催	10 月 25 日	第 5 回 シンポジウム だまっていたらあかん！ 介護崩壊は社会の危機 ヘルパーが大変！あな たの介護は大丈夫？ 介護訪問事業所実態調 査報告	*講師 佛教大学准教授 新井康友氏 調査協力 同志社大研究科 鄭 ^{チョンヒソン} 熙聖氏 *パネリスト 京都福祉サービス 協会、七野会金閣 こぶしの里、ヘル パーステーション くるみ	ひと・まち交流 館京都大会議室	120 名
第 108 回	11 月 21 日	暮らしの継続性を実現 するために～これから の在宅サービスと施設 のあり方を考える～	リガーレ暮らしの 架け橋理事長 山田尋志氏	ひと・まち交流 館京都	32 名
	2021 年 1 月 1 6 日 (中止)	アクティブシニアの小 さな冒険	会員 正木隆之氏	ひと・まち交流 館京都	—
第 109 回	2 月 20 日	京都の未来を語る ～京都の現状と展望～	京都府議・会員 田中けんじ氏	ひと・まち交流 館京都	24 名
第 110 回	3 月 13 日	在宅における 転倒防止に関する研究	清和園/認定理学 療法士 坂野裕也氏	ひと・まち交流 館京都	25 名

3. 介護・福祉サービス第三者評価事業

(1) 介護・福祉サービス第三者評価事業 実施状況

2020年度は、1年を通して新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けた1年でした。
2021年4月現在においてもその状況は続いています。

このような大変な状況の中でも8事業所から受診の申し込みがあり、感染症対策を十分行っ
たうえで訪問調査を実施いたしました。詳細は下記の通りです。

(2) 第三者評価調査者フォローアップ研修

第三者評価調査者を対象としたフォローアップ研修ですが、今年度は新型コロナウイルス感
染拡大防止のため三密を避け、資料を配布し自宅ワークといたしました。

《内容》

- ・当会における第三者評価の現状について
- ・第8期 介護保険最新情報
- ・新型コロナウイルス感染症の対応について

(3) 第三者評価調査者、審査会委員の増員

- ・2020年度「京都介護・福祉サービス評価調査者養成研修」を2名の方が受講され、調査者と
して登録いたしました。

- ・審査会委員も2名増員をすることができました。

第三者評価調査者登録者数（2021年3月31日現在） 一人複数の登録あり

介護	28人
障害	12人
保育	13人
児童	3人

- ・審査会委員登録者数 12人

4. 調査・研究事業

『20周年記念誌』に記した「20年の歴史の中から切り出した課題と視点」に基づいて、ほぼ毎
月研究会を開催しました。

また、「第8期京都市民長寿すこやかプラン」（案）に対する検討を行い、メンバー各自の意
見をパブリックコメントとして提出しました。

5. 広報・啓発事業

(1) 会報の発行

- ・発行回数：年6回（偶数月）
- ・体裁・ページ数：A4版6月号より8ページ
- ・発行部数：400部
- ・配布先：会員、介護・福祉サービス第三者評価受診事業所、京都市内地域包括支援センター(61
カ所)、関係行政機関や関係団体、かかわる会の活動に助言や指導をいただいている方、ひと・
まち交流館京都の市民活動総合センター、福祉ボランティアセンターの展示書架等。

各号のページ建てと主な内容

号	116	115	114	113	112	111
発行日	2021. 2. 5	2020. 12. 4	2020. 10. 2	2020. 8. 7	2020. 6. 5	2020. 4. 3
1 頁	市役所は実態を知ってください！ 提言書の提出について（中山）	第8期すこやかプランに意見・提言を！	9/4 研修会、奈倉道隆氏講演内容の概略	本会についての6/13 京都新聞掲載記事	2020 年度総会報告(中川)	活動報告・予定（小栗） 総会案内
2 頁	京都市長への5団体提言書	介護保険ホットニュース	9 月研修会アンケートまとめ（笠原）	厚労省の通達、介護報酬の特例について（萩原・本浪尚）	かかわる会組織・業務担当図／就任・退任理事挨拶	2 月研修会報告（小栗）
3 頁	京都市長への5団体提言書	10 月だまっていたらあかんシンポ報告（田村）	10 月だまっていたらあかんシンポ予告（田村）	6月研修会報告（伊藤）	特集：新型コロナ禍における介護現場から（櫻庭葉子）	2 月研修会アンケート紹介・4月研修会案内→中止告知
4 頁	第三者評価事業の新型コロナ対応（笠原）	訪問介護事業所アンケート調査抜粋	納得できる「京都市民長寿すこやかプラン」に（萩原）	6月研修会報告（伊藤）	（上原啓介）（平野久美子）	3 月研修会報告
5 頁	第8期すこやかプラン中間報告トピックス（調査・研究グループ）	訪問介護事業所アンケート調査抜粋	納得できる「京都市民長寿すこやかプラン」に（萩原） コラム(小中)	記念誌についてのアンケート結果	（坂野裕也）（中川宏實）	シリーズ友好団体の紹介「助けあいグループりぼん」（酒井）
6 頁	4月からの介護保険制度改定の注目点（小栗）	11 月研修会報告（中川）	4 月から介護保険はどうなる（冬木）	7月研修会報告（小栗）	（北尾勝美）（笠原あけみ）	会員リレーえっせい（大字） 編集後記（冬木） 新会員紹介
7 頁	2 月・3 月研修会案内	1 月研修会案内 映画の紹介（小中）	11 月研修会案内 本の紹介（竹山）	今後の研修会等案内 本の紹介（正木）	（梶政彦）	
8 頁	会員リレーえっせい（早川さくら） 編集後記（竹山）	会員リレーえっせい（梶和子） 編集後記（梶宏）	会員リレーえっせい（清水潤） 編集後記（笠原） 新会員紹介	会員リレーえっせい（奈倉） 編集後記（小中） 新会員紹介	研修会予定・お知らせ 編集後記（正木）	

※主な内容のうち研修会案内、研修会報告の内容は、「2. オンブズマン養成事業」をご覧ください。

今年度も隔月刊で、6月号より8ページ建てで発行しました。毎号、広報グループによる編集会議を開催。直前に発行した会報の反省点や次号発行分の掲載内容について意見交換し、誌面の改善・充実を図りました。2020年4月に新型コロナによる緊急事態宣言が出されましたが、6月号では「新型コロナ禍における介護現場から」という特集を組み、介護事業所や介護家族の声を取り上げました。また2020年度は3年に1回の介護保険制度見直しの時期に当たり、厚労省の諮問機関である社会保障審議会や、京都市民長寿すこやかプランを審議する高齢者施策推進協議会の動きについても各号で取り上げました。12月号より、資料を紹介する際にはQRコードを掲載するようにしました。

会報の発送先については6月号を発送する際にリストを担当理事にチェックして頂き、不要分を削除し必要分を追加しました。会と関りのある組織・個人と三評関係については、これまで送っていたリストの総数はほぼ同じ（約180件）でした。今年度より調査研究担当理事が行政の介護保険担当者に会報を手渡しで配布し、その機会に取材をするということも始めました。

(2) ホームページ・SNSの管理

2019年9月より <https://npokaigo.or.jp> のドメインでスタートした会の公式ホームページに研修会の予告、報告、会報の発行については速やかに掲載するようにしました。Word Press という仕組みを使っているので複数担当者での編集が可能ではありますが、一定の研修が必要であることから複数化は実現していません。当会の Facebook ページも開設していますが、ホームページとのリンクが上手くいかず、今のところ情報の更新が余りできていないのが課題です。

(3) 研修会のチラシ広報の強化

各回の研修会チラシの印刷原稿を作成し、外注もしくは内部印刷したチラシを会報と共に発送したり、ひと・まち交流館に配架したりしました。見栄えのするカラー印刷が安価で実現していることから研修会の参加人数拡大にも貢献しています。

6. 関係諸団体との連携強化

2016年12月に発足した「よりよい介護をつくる市民ネットワーク」の5団体を始め他団体や事業所との連携に努めました。同会主催の第5回シンポジウムは10月25日に開催しました。（詳細は「2. オンブズマン養成事業」をご参照ください。）

このシンポジウムに寄せられた市民や現場の声をまとめ、12月18日に京都市長に提言書を提出し、保健福祉局介護ケア推進課と話し合いの場を持ちました。シンポジウムの報告書（1000部）を2021年3月に発行し「京都市高齢者施策推進協議会」の委員を始め、市議会、全地域包括支援センター、関係機関や希望する市民に配布しました。訪問介護事業所の実態調査の結果をまとめ、別冊資料集として発行しました。

7. 会の運営（事務局）

(1) 会員の状況

会員数は2020年3月末現在79名。この1年の再入会は1名、新入会員は9名、退会者は2名で、2021年3月末現在会員数87名と1割増加しました。研修会参加市民への声かけや会員による新会員勧誘効果が少し現れたと思います。今後更に介護保険制度や介護サービスの在り方、第三者評価等に関心を持つ方の入会を図っていきたいと思います。

(2) 財政の状況

昨年1月から新型コロナウイルス感染症が急拡大し、非常事態宣言の発出等により、予定

していた第三者評価の事業所調査に入れなくなりました。この為、財政の柱になっている第三者評価の2019年度契約・入金済みの未調査分2件が2020年度でキャンセル・返金の止む無きに至り、且つ、2020年度調査は8件に止まりました。この為、経常収益は予算約280万円に対し、実績166万円、予算比59%で終了。この結果、2020年度決算は節約に節約を重ねたものの約33万円の赤字決算となりました。

会員数は約1割増えたものの年会費3,000円を据え置いています。

今後も健全経営に向けて介護保険にかかわる会に相応しい新しい事業の模索・研究など、一歩ずつ努力したいと考えています。

(3) 理事会の開催

理事会は毎月ほぼ全員の理事が出席して月1回（原則、第一木曜日）定期開催してきました。毎月の理事会では研修会テーマや講師の検討、三評関係の課題、会報内容の検討などその時々の問題を広く討議してきました。

更に三役会議の定期開催（年3回）と課題発生時の会議等も行い、迅速に対応してきました。

NPO法人に義務付けられている各所轄官庁への活動報告書の提出、定款改定・役員の異動届、法人事業税の申告と納付等の法定業務は何れも期限内に履行しています。